

## はじめに

このたびはENYASS15ディーゼルエンジンをご購入頂きまして誠にありがとうございます。本内容はディーゼルエンジン特有の取扱い方法について記しております。グローエンジンとの取扱いの大きな違いは、プラグを必要としない為、燃料が特殊である、始動方法、が挙げられます。これらを念頭に置きながらご精読下さい。また、同封のエンヤエンジン標準取扱説明書も合せてお読みくださるようお願い致します。

## テクニカルデータ

※ 行程容積	2.47 cc
※ ボア×ストローク	15.0×14.0 mm
※ 実用回転数	3,000~12,000 rpm
※ 重量	200 g

※ 構造	1BB、シニューレ掃気、A B C
※ マウント寸法	34.0×12.5 mm
※ 適合プロペラ	9~9.5×6~7, 10×3~5 (in.)
※ 適合マフラー	M154, MC154 チョークニップル付)

## エンジンの始動・運転に必要なもの

<input checked="" type="checkbox"/> 燃料	<input checked="" type="checkbox"/> 燃料チューブ	<input checked="" type="checkbox"/> 燃料タンク用ゴム栓	<input checked="" type="checkbox"/> プロペラ	<input checked="" type="checkbox"/> マフラー	<input checked="" type="checkbox"/> 皮製手袋
<input checked="" type="checkbox"/> 燃料ポンプ	<input checked="" type="checkbox"/> 工具	<input checked="" type="checkbox"/> 模型又はテストベンチ	グローブラグ及び始動用バッテリーは不要です。		

- ※ 燃料 ..... 模型用ディーゼル燃料を使用して下さい。お求めは模型店にお問合せください。末尾に弊社推奨の取扱い店を記載しておりますのでご利用ください。
- ※ 燃料チューブ ..... グローエンジン用のシリコン系燃料チューブは使用できません。チューブの他、燃料タンクのゴム栓を含め、ガソリンエンジン用のもの(ネオプレーン製、またはビニール製)を使用して下さい。
- ※ プロペラ ..... 10×4、又は9.5×6のサイズのプロペラで始められる事をお奨めします。(回転数: 9,000~10,000 rpm)
- ※ マフラー ..... エンヤ製別売マフラーを御使用下さい。M154マフラー、またはチョークが可能なMC154マフラーがあります。
- ※ 皮製手袋 ..... 始動はハンドフリップを基本とする為、丈夫な皮製手袋をご用意下さい。

## エンジンの始動・運転について

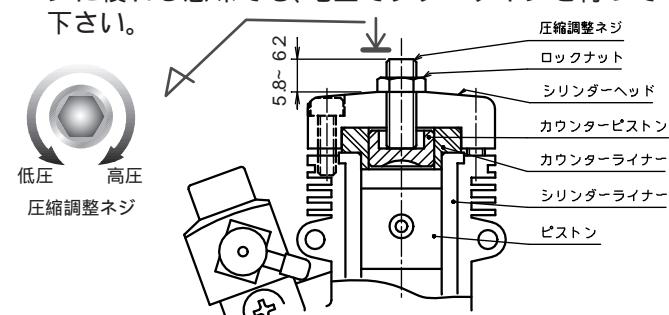
## 始動前の心得

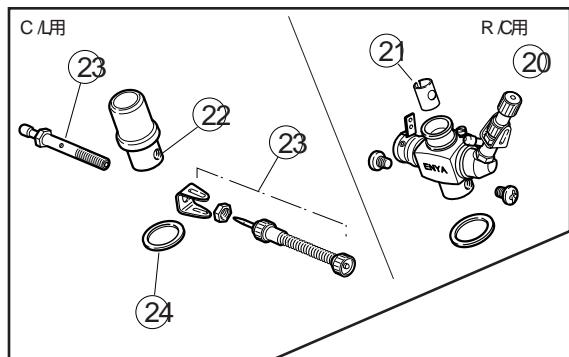
1. 圧縮調整ネジはメーカー出荷時に調整済みですので、始動するまで動かさないで下さい。また、出荷位置よりも圧を高くし運転すると、エンジンが壊れことがありますのでお止めください。 
2. ディーゼルエンジンは自己着火方式の為、不用意にクランクすると突然エンジンが廻り出す危険があります。取扱いは十分にご注意ください。 
- 始動前の諸準備
  1. 10×4、又は9.5×6のプロペラを緩みの無い様に確実に取り付けて下さい。
  2. 数滴の燃料をチョークしてプロペラをゆっくり数回転させ、燃料を各部に行き渡らせて下さい。
- 新しいエンジンの始動方法
  1. 燃料タンクに燃料を注入します。
  2. ニードルバルブを2回、開きます。
  3. R/C用の場合は、スロットル開度を40~50%に調節して下さい。
  4. 吸気口(またはマフラー側チョークニップル)から燃料をチョークし、タンク内の燃料をスロットルバルブに導いて下さい。
  5. 手で強く、素早くプロペラをクランキングします。グローとは異なり、ディーゼルは前触れなく突然始動することがありますので、クランキングは十分に注意して行って下さい。
  6. 始動したらそのままの状態で20~30秒間、エンジンを暖めて下さい。暖まる前の段階でスロットルを動かすとエンストします。
  7. 暖気運転後、スロットルを全開にします。回転が続くようであればニードルバルブをゆっくり絞り最高回転になる様調節します。このニードル位置を【仮のピーク】として憶えておいて下さい。この後、初めて圧縮調整ネジを少しずつ緩めて圧縮比を調整します。

## 8. 圧縮調整ネジの調整方法(スロットルは全開状態)

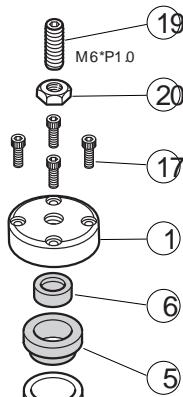
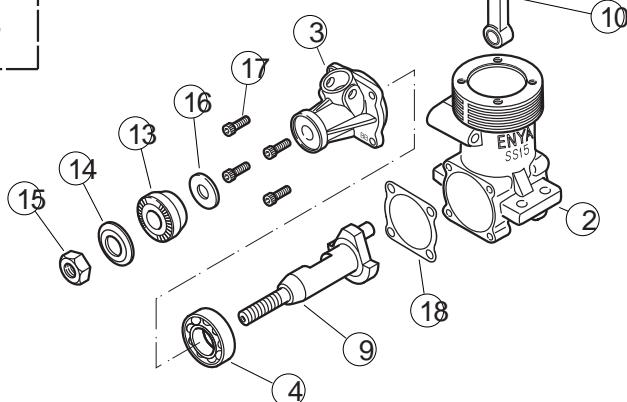
- a) 圧縮調整ネジはメーカー出荷時には始動性を考慮して多少、圧が高目に設定されています。(早期着火、ノックングの兆候がでる場合があります。)実用運転させるには少しずつ圧縮調整ネジを緩めて調整します。
- b) エンジンがスムーズに廻り、回転が上昇して行きます。更に調整し、最高回転を経て、あるポイントを過ぎると急に回転が不安定になります。この位置より10~20°戻した(絞った)位置が最適です。
- c) 圧縮調整ネジを調整し圧縮比を下げたことで、【仮のピーク】のニードル位置も変化します。引き続き回転を見ながら前項の7.~8.bを何度も繰り返し、最適なニードル位置、圧縮調整ネジ位置を見つけて下さい。
- d) ニードル位置及び圧縮調整ネジ位置が決まったら、調整の基点となりますのでその位置を憶えておいて下さい。
- e) 諸条件によって違いがありますが以下の位置を一つの目安にして下さい。(下図参照)
  - ニードル開度: 1 1/4~1 3/4回転
  - 圧縮調整ネジ高さ: 5.8~6.2 (mm)

9. スロー調整はグローエンジンの要領と同じです。別紙の標準取扱説明書を参照して下さい。
10. 上記の要領でトータル30~60分、ディーゼルエンジンに慣れる意味でも、地上でブレーキインを行って下さい。

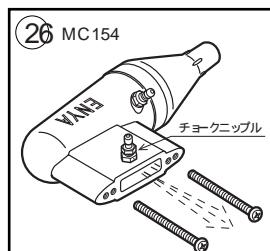
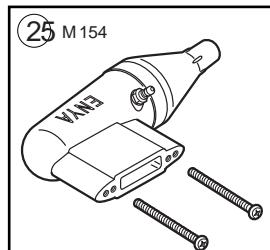




【印】  
SS15 Diesel専用パーツ



【冷間時の圧縮調整の注意点】  
カウンタービストンはカウンターライナーに圧入されており、冷間時、高圧から低圧への圧縮調整ネジによる調整は、構造上出来ません。(低圧から高圧への調整は可能ですが、むやみに触らないでください。)必ず、エンジン運転中に調整するようにしてください。止むを得ず、冷間時に調整が必要になった場合は、シリンドラーヘッドをはずし、カウンターライナー＆ビストンを取り出してください。ビストンの下面に木片を当て、金槌等で慎重に必要量だけ押し下げてください。



## パーツリスト

図番	部品名称	数量	部品番号
1	シリンドラーヘッド	1	S15D01
2	本体	1	S1503
3~4	前蓋(ペアリング付)	2式	S15B07
3	前蓋	1	S15B07A
4	ボールペアリング大	1	11CX03B
5~6	カウンターライナービストン	2式	S15D02
5	カウンターライナー	1	S15D02A
6	カウンタービストン	1	S15D02B
7~8	シリンドラーライナービストン	2式	S15D04
7	シリンドラーライナー	1	S15D04A
8	ビストン	1	S15D04B
9	クランクシャフト	1	S15B08
10	コネクティングロッド	1	S1505
11	ビストンピン	1	S1506
12	ビストンピンストップリング(2ヶ)	1	19X61
13	ドライブワッシャ	1	S1510
14	プロペラワッシャ	1	15212

図番	部品名称	数量	部品番号
15	プロペラナット	1	15214
16	スラストワッシャ	1	15440
17	取付ビスセット	1式	S2515
	C3*10,4PCS / C3*8,4PCS		
18	後蓋ガスケット	1	15416
19	圧縮調整ネジ	1	11CXD17
20	ロックナット	1	11CXD18
【R/C用の場合】			
20	スロットレバルブアッセンブリー	2式	11CX70
21	ベンチュリーアンサート	1	11CX70V
【C/L用の場合】			
22	ベンチュリー	1	S1521
23	ニードルバルブアッセンブリー	1	15220
24	ベンチュリーガスケット	1	15323
【別売マフラー】			
25	標準マフラー	2式	M154
26	マフラー(チョークニップル付)	2式	MC154

## ディーゼル燃料取扱店

店名	TEL	FAX	URL	メールアドレス
top_shop		0426-37-4577		BQY04057@nifty.com
模航研	0267-22-5893	0267-22-5893	http://mokoken.driven.jp	mokoken@m2driven.jp
タニクラフト	077-553-7645	077-553-7645	http://www.ne.jp/asahi/tiny/craft	tinycraft@shop.e-mail.ne.jp